

市民の笑顔をおとどけます



3/15

ホタルの幼虫放流会

鶴里町でホタルの幼虫放流会が開催され、市内外から21人が集まり同町内の妻木川にホタルの幼虫1200匹とその餌になるカワニナを放流しました。

放流したホタルの幼虫は、昨年7月から「ホタルの里づくりの会」会員が育てたもので、この日、水槽から掘り出したばかり。バケツに集めて放流地点まで歩いて行きました。バケツから丁寧にひしゃくですくい、放流した児童は、「ホタルの幼虫を初めて見て、触れて、いい体験ができました。夏にはホタルになってみんなの前できれいに飛んでほしい」と笑顔を見せました。

同会の方によると今年の見ごろは6月の半ばごろで、ホタル祭りは6月20日(土)開催予定です。



明智光秀のルーツである美濃源氏土岐明智氏と妻木氏を紹介する特別展「光秀の源流 土岐明智氏と妻木氏」の開催にあたり、美濃陶磁歴史館でテーブルカッソ式と内覧会が行われました。

同展では、土岐明智氏の末裔に伝わる「土岐家文書」を土岐市で初公開するほか、妻木氏の菩提寺崇禅寺に伝わる光秀の伯父広忠の位牌の台座、妻木八幡神社の妻木家頼の具足など、約300点の貴重な資料がずらりNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公明智光秀の出自につながる土岐氏の系譜をひもときます。開催は5月31日まで(月曜休館)。



1. 入口正面に展示されたパネル
2. 「土岐家文書」を見学する来賓
3. 妻木町の遺跡から出土した陶器

2/28

美濃陶磁歴史館 特別展



1. 放流する子どもたち
2. 放流する小川まで移動
3. バケツに集められた幼虫



3/26

土岐医師会准看護学校 東濃看護専門学校 卒業式

土岐医師会准看護学校の卒業式が2日、東濃看護専門学校卒業式が6日にそれぞれの学校で挙行されました。今回の式は、両校とも新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、来賓を招かないなど、例年よりも規模を縮小しての開催となりました。

土岐医師会准看護学校卒業生代表の大塚和子さんは、「患者さんの多種多様なニーズに応え、よりよい看護を提供できるように自己研さんを励みます」などと決意を述べ、東濃看護専門学校卒業生代表の馬淵和美さんは、「支え合った仲間たち、多くの方々の助けがあったからこそ、今、卒業を迎えることができました。すべての皆様に、卒業生一同より感謝を申し上げます」などと感謝の言葉で締めくくりました。



卒業証書を受け取る卒業生。左が東濃看護専。右は准看護学校生。



卒業式に出席した卒業生。左が東濃看護専。右は准看護学校生。

3/18

災害時のボランティア活動支援

社会福祉法人土岐市社会福祉協議会と土岐織部ライオンズクラブとの「災害時におけるボランティア活動支援に関する協定」の締結式がウエルフェア土岐で行われました。

この協定は、大規模災害発生時に設置が想定される「災害ボランティアセンター」を運営するにあたり、市職員・社協の職員だけでは十分な運営が実施できない



土岐織部ライオンズと市社会福祉協議会の役員の皆さん

いことが想定されるため、土岐織部ライオンズクラブが、ボランティアセンターの設置、運営、必要な物品などの調達などを支援する趣旨で、締結されました。

今回のような趣旨で、ライオンズクラブと社会福祉協議会の協定締結は、全国で10件程度、中部8県では初とのこと。

大規模災害時に大変強い支援となることでしょう。